

令和 5 年 6 月 22 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H00537

研究課題名(和文)分散型大規模大名家史料群の高度学術資源化と地域還元

研究課題名(英文)A research for advancement of academic resources and regional contribution concerning the distributed exists large scale Daimyo's historical materials.

研究代表者

鶴田 啓 (TSURUTA, KEI)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号：10172066

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 29,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、幕藩制国家を構成する要素としての藩の性格や日朝交渉における対馬藩の役割や幕府-対馬藩関係が日朝関係に与えた影響を解明すること、歴史学の現在の課題への効果的な貢献方法を構築することを大きな目的とする。

具体的には、対馬藩宗家文書の効果的な研究資源としての利用環境整備(長崎県立対馬歴史研究センター所蔵分のデータベースを整備し、東京大学史料編纂所所蔵分のインターネット上での画像公開)、および長崎県対馬市での一般市民を対象としたシンポジウム(「広がる！対馬歴史研究-対馬藩から見る江戸時代の日本-」)を実施した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究によって、これまで史料の現状(史料情報の検索の困難さや原本史料の状態の悪さによる閲覧の困難さ)によって、研究を進めにくい面があった対馬藩関連史料の研究環境が整備され、同史料を用いた研究が大幅に促進されることが予想される。

また歴史学研究者と一般市民との歴史学研究成果への理解の溝については、大きく開いてしまっているままではあるが、本研究で実施した市民向けシンポジウムは研究者と一般市民との間を繋ぐ試みとして有益であり、今後の参照になりうると期待している。

研究成果の概要(英文)：The major objectives of this research are to elucidate the role of the Tsushima clan as a component of the early modern Japanese state, the role of the Tsushima clan in diplomacy, and the influence of the Tsushima clan on the diplomacy of the shogunate, and to establish effective ways to contribute to current issues in historical studies. Specifically, we will develop an environment for the use of Tsushima clan archives as effective research resources (by developing a database for the collection of Nagasaki Prefectural Tsushima Historical Research Center and making images of the collection of Historiographical Institute The University of Tokyo available on the Internet), and hold a symposium for the general public in Tsushima City, Nagasaki Prefecture ("Expanding! Research on the History of Tsushima: Japan in the Edo Period as Seen from the Perspective of the Tsushima Clan") in Tsushima City, Nagasaki Prefecture.

研究分野：日本近世史

キーワード：大名家史料 日本近世 日朝関係 幕藩関係 分散型史料 日本近世史 近世日朝関係

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

日本近世史の研究においては、2000 年前後から「藩社会」「藩世界」「藩地域」などの研究概念が提唱され、藩の総体的な把握を意識した研究が進められてきた。これらの研究では、藩を総合的に把握することが目指されており、藩政史・都市史・農村史・身分論・文化史など、分野を超えた総合的な分析が行われている。本研究では、豊富な藩政史料が残されている対馬藩を対象とすることによって、総合的な藩研究が大きく進展することを予想した。

その一方で、科学研究が高度に専門化し、その結果、社会との溝が大きく開いてしまっており、歴史学研究も同様の状況にあり、改善をする必要がある。このような状況下において、「本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」」に記述したように、対馬藩・宗家文書研究をめぐる研究開始時点の環境は、日本史学の研究成果を研究者以外へ公開し、活用を求めていくにあたっての絶好の機会であった。本研究は、新しく開設される長崎県立対馬歴史研究センターの活動と連携して実施されるため、地域社会との連携を実践的に研究していくことが可能であると予想された。

### 2. 研究の目的

1: 対馬藩宗家文書の効果的な研究資源としての利用環境を整備する。具体的には長崎県立対馬歴史研究センター所蔵分のデータベースを整備し、東京大学史料編纂所所蔵分のインターネット上での画像閲覧を可能とする。これによって文書の全体構造把握や研究利用を大きく進展させる。

2: 幕藩制国家を構成する要素としての藩の性格や日朝交渉における対馬藩の役割および幕府 - 対馬藩関係が日朝関係に与えた影響解明を解明する。

3: 歴史学の現代的課題への効果的な貢献方法を構築する。対馬居住者（歴史学の研究者以外）や観光客を主な対象にして、日本近世史学の研究成果をわかりやすく公開する。

### 3. 研究の方法

1: 宗家文書の研究資源化

長崎県立対馬歴史研究センター所蔵史料のデータベース作成・公開および、東京大学史料編纂所所蔵「宗家史料」の撮影・公開により、対馬藩関連史料の研究環境を整備した。

2: 研究資源・研究成果の地域還元

対馬藩の所在地であった現在の長崎県対馬市において、シンポジウムを開催し、研究成果の報告を行った。

### 4. 研究成果

1: 宗家文書の研究資源化

長崎県立対馬歴史研究センター所蔵史料のデータベース作成・公開

「宗家文書を素材とした分散所在大名家史料群の総合的研究（科学研究費補助金基盤研究(A)」で作成したデータベースを改修・強化した。このデータベースは本研究の終了後に対馬歴史研究センターに移管し、公開を予定している。

東京大学史料編纂所所蔵「宗家史料」の撮影・公開

「宗家史料」を撮影し、「史料編纂所所蔵史料目録データベース」で公開している。なお対馬藩と幕府との交渉を分析する基幹史料である「江戸藩邸毎日記」については、既公開分を含め、全てをインターネット上で閲覧できるようになった。

2: 研究資源・研究成果の地域還元

令和4年12月10日、対馬市交流センター（対馬市厳原町）にて、シンポジウム「広がる！対馬歴史研究 - 対馬藩から見る江戸時代の日本 - 」を開催した。本シンポジウムは研究者対象では

なく、一般市民を主な対象として実施し、日本史学研究を一般市民にも理解しやすく説明するという点を重要視した。現地参加者 54 名のほか、オンライン配信も実施した。参加者のアンケート結果でも好評を得ており、歴史学の成果を研究者以外に公開するという目的は達成できたと考えている。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 荒木裕行	4. 巻 94
2. 論文標題 ペリー来航時の江戸飯米確保策	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 123・125
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須田牧子・古川祐貴	4. 巻 94
2. 論文標題 蒋洲咨文の来歴	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 112・115
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須田牧子	4. 巻 272
2. 論文標題 高野山金剛峯寺所蔵 高麗版大蔵経 武田科学振興財団所杏雨書屋所蔵 磧砂版大蔵経	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア遊学	6. 最初と最後の頁 46・63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須田牧子	4. 巻 272
2. 論文標題 多久頭魂神社所蔵高麗版大蔵経の渡来年代について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア遊学	6. 最初と最後の頁 169・192
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須田牧子	4. 巻 3
2. 論文標題 対馬宗家文書の可能性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 長崎県対馬歴史研究センター所報	6. 最初と最後の頁 31・60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 83(1)
2. 論文標題 長崎からみた天草 分断と連帯	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 74・93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 7
2. 論文標題 本山家文書と本石灰町	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 長崎学	6. 最初と最後の頁 7・17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴	4. 巻 1025
2. 論文標題 書評: 酒井雅代『近世日朝関係と対馬藩』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 41・44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴	4. 巻 895
2. 論文標題 書評：程永超『華夷変態の東アジア 近世日本・朝鮮・中国三国関係史の研究』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 98・100
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須田牧子・古川祐貴	4. 巻 94
2. 論文標題 蒋洲咨文の来歴	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 113・122
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴	4. 巻 7
2. 論文標題 対馬藩主図書考	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 訳官使・通信使とその周辺	6. 最初と最後の頁 1・18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 41(1)
2. 論文標題 国際貿易都市長崎の成立と特質	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地図情報	6. 最初と最後の頁 13-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 708
2. 論文標題 研究展望 荒野泰典『近世日本と東アジア』(特集 戦後歴史学の著作を読む(6))	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石津裕之	4. 巻 278
2. 論文標題 近世における神社と門跡の関係 - 祇園社と青蓮院・妙法院を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ヒストリア	6. 最初と最後の頁 49、75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 0
2. 論文標題 近世日本における西欧文化の交流と通訳・翻訳 スペイン通詞不在期におけるオランダ通詞の視点から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 変わりゆく世界におけるスペインと日本	6. 最初と最後の頁 47、58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 901
2. 論文標題 幕府の「鎖国」政策とその実態	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 4、11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石津裕之	4. 巻 698
2. 論文標題 書評 村上紀夫著『近世京都寺社の文化史』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 83、90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴・藤井良昭・堀田圭吾	4. 巻 16
2. 論文標題 重要文化財「対馬宗家関係資料」の修理から見た「毎日記」の生成	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東風西声 (九州国立博物館紀要)	6. 最初と最後の頁 91、109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴	4. 巻 1
2. 論文標題 対馬宗家の家督相続と朝鮮通交 (外交・貿易)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎県対馬歴史研究センター所報	6. 最初と最後の頁 68、87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴	4. 巻 1
2. 論文標題 宗義成・義質口宣案について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎県対馬歴史研究センター所報	6. 最初と最後の頁 37、45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 木村直樹	4. 巻 9
2. 論文標題 長崎をささえる大分との回路ー近世の人・物・情報の交流ー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大分県立先哲史料館史料館研究紀要	6. 最初と最後の頁 1、9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村 和明	4. 巻 1004
2. 論文標題 近世の女帝と国家・社会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 16、19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石津裕之	4. 巻 278
2. 論文標題 近世における神社と門跡の関係ー祇園社と青蓮院・妙法院を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ヒストリア	6. 最初と最後の頁 49、75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 0
2. 論文標題 近世日本における西欧文化の交流と通訳・翻訳 スペイン通詞不在期におけるオランダ通詞の視点から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 変わりゆく世界におけるスペインと日本	6. 最初と最後の頁 47、58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 901
2. 論文標題 幕府の「鎖国」政策とその実態	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 4、11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒木裕行	4. 巻 989
2. 論文標題 幕藩間交渉における非制度的関係の位置づけ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 96、103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石津裕之	4. 巻 698
2. 論文標題 書評 村上紀夫著『近世京都寺社の文化史』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 83、90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴・藤井良昭・堀田圭吾	4. 巻 16
2. 論文標題 重要文化財「対馬宗家関係資料」の修理から見た「毎日記」の生成	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東風西声 (九州国立博物館紀要)	6. 最初と最後の頁 91、109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴	4. 巻 1
2. 論文標題 対馬宗家の家督相続と朝鮮通交（外交・貿易）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎県対馬歴史研究センター所報	6. 最初と最後の頁 68、87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川祐貴	4. 巻 1
2. 論文標題 宗義成・義質口宣案について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎県対馬歴史研究センター所報	6. 最初と最後の頁 37、45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 9
2. 論文標題 長崎をささえる大分との回路ー近世の人・物・情報の交流ー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大分県立先哲史料館史料館研究紀要	6. 最初と最後の頁 1、9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村和明	4. 巻 1004
2. 論文標題 近世の女帝と国家・社会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 16、19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 3件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 石津裕之
2. 発表標題 近世前中期における宮門跡の序列と天皇・院の養子・猶子
3. 学会等名 朝幕研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木村直樹
2. 発表標題 九州諸藩から見る「長崎・出島」
3. 学会等名 長崎県考古学会秋季大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荒木裕行
2. 発表標題 幕藩間交渉における非制度的関係の位置づけ
3. 学会等名 歴史学研究会近世史部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鶴田啓
2. 発表標題 関徳基「一八世紀、平和の使令、通信使 朝鮮通信使行の積極的日本評価と日本側の『易地聘礼』提起」へのコメント
3. 学会等名 2019年韓日国際学術大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鶴田啓
2. 発表標題 前近代日本の「居留地」
3. 学会等名 外国人居留地研究会全国大会・神奈川大学非文字資料研究センター公開研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 増崎 英明、長崎大学地域文化研究会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 九州大学出版会	5. 総ページ数 330
3. 書名 今と昔の長崎に遊ぶ（木村直樹 第3章「近世貿易都市長崎の特質を考える 尾曲り猫はどこからきたのか」）	

1. 著者名 編著者長崎歴史文化博物館、分担執筆者木村直樹・安野真幸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 長崎歴史文化博物館	5. 総ページ数 192
3. 書名 長崎開港450周年記念展 ふたつの開港（木村直樹「伝統都市長崎へ - 寛文・延宝期の変容」）	

1. 著者名 福田 千鶴、藤實 久美子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 488
3. 書名 近世日記の世界（石津裕之 第1部第3章「年預記録 - 北野天満宮を支えた社僧の職務日記」）	

1. 著者名 横田冬彦	4. 発行年 2021年
2. 出版社 公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会	5. 総ページ数 360
3. 書名 柳沢藩家老「藪田家文書」の目録と解題（石津裕之「解題 細川綱利書状について」）	

1. 著者名 杉森 哲也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 268
3. 書名 日本の近世（木村直樹分担執筆）	

1. 著者名 中塚 武、鎌谷 かおる、渡辺 浩一	4. 発行年 2020年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 296
3. 書名 気候変動から読みなおす日本史 第5巻（村和明分担執筆）	

1. 著者名 杉森哲也編（木村直樹分担執筆）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 260
3. 書名 日本の近世	

1. 著者名 片峰茂監修（木村直樹分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 長崎文献社	5. 総ページ数 162
3. 書名 長崎の岬 - 日本と世界はここで交わった	

1. 著者名 春名宏昭・高橋典幸・村和明・西川誠	4. 発行年 2019年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 128
3. 書名 皇位継承：歴史をふりかえり変化を見定める	

1. 著者名 杉森哲也編（村和明分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 358
3. 書名 シリーズ三都 京都巻	

1. 著者名 朝幕研究会編（村和明分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩田書院	5. 総ページ数 522
3. 書名 論集 近世の天皇と朝廷	

1. 著者名 中塚武監修 (村和明分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 296
3. 書名 気候変動から読みなおす日本史5	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	古川 祐貴 (FURUKAWA YUUKI) (00784860)	弘前大学・人文社会科学部・助教  (11101)	
研究分担者	木村 直樹 (KIMURA NAOKI) (40323662)	長崎大学・多文化社会学部・教授  (17301)	
研究分担者	石津 裕之 (ISHIZU HIROYUKI) (50812674)	東京大学・史料編纂所・助教  (12601)	
研究分担者	須田 牧子 (SUDA MAKIKO) (60431798)	東京大学・史料編纂所・准教授  (12601)	
研究分担者	荒木 裕行 (ARAKI HIROYUKI) (70431799)	東京大学・史料編纂所・准教授  (12601)	



6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	村 和明  (MURA KAZUAKI)  (70563534)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授    (12601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関